

平成30年度病虫害発生予察予報第3号（6月）

平成30年6月6日
高知県病虫害防除所

《予報の概要》

作物名	病虫害名	予想発生量※
水稻	いもち病 ツマグロヨコバイ セジロウンカ ヒメトビウンカ	<u>多(西)</u> 、平年並(東、中央、中西) <u>多(西)</u> 、やや少(東、中央、中西) 平年並(県下全域) <u>多(西)</u> 、やや少(東、中央、中西)
かんきつ類(温州みかん)	そうか病 黒点病 かいよう病 ミカンハダニ カメムシ類	やや少(中央) やや少(中央) やや少(中央) <u>多(中央)</u> <u>やや多(中央)</u>
かんきつ類(中晩柑類)	そうか病 黒点病 かいよう病 ミカンハダニ カメムシ類	<u>多(西)</u> 、やや少(東、中央、中西) <u>やや多(中央、中西、西)</u> 、平年並(東) <u>多(中央)</u> 、やや少(東、中西、西) <u>多(中央)</u> 、 <u>やや多(中西)</u> 、やや少(東、西) <u>やや多(東、中西)</u> 、平年並(中央、西)

※ () 内の表記 東：県東部、中央：県中央部、中西：県中西部、西：県西部

I 気象予報（高松地方気象台 5月31日発表）

＜予想される向こう1か月の天候＞6月2日から7月1日

平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

向こう1ヶ月の平均気温は、高い確率が60%です。降水量は平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は平年並または少ない確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は高い確率60%です。2週目は高い確率50%です。3～4週目は平年並または高い確率ともに40%です。

＜向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）＞

期間	対象地域	要素	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
1ヶ月	四国地方	気温	10	30	60
		降水量	20	40	40
		日照時間	40		40

＜気温経過の各階級の確率（%）＞

期間	対象地域	低い	平年並	高い
1週目	四国地方	10	30	60
2週目		20	30	50
3～4週目		20	40	40

＜予報の対象期間＞

1ヶ月：6月2日（土）～7月1日（日）

1週目：6月2日（土）～6月8日（金）

2週目：6月9日（土）～6月15日（金）

3～4週目：6月16日（土）～6月29日（金）

II 病害虫発生予想

1 水稻の病害虫

1) いもち病（葉いもち）

発生量：多（西部）、平年並（東部、中部、中西部）

根拠

(1) 5月の調査では、県西部で発生が確認されており、6月の降水量は平年並または多いと予想されていることから、県西部では平年よりも多め、その他の地域では平年並の発生になると考えられる。

(2) BLASTAM（葉いもち発生予測システム）では5月19日に県中央部、中西部で、5月23日、24日には県西部で、5月31日には県下全域で感染好適日が確認されている（BLASTAMによる葉いもち発生予測判定状況は病害虫防除所HPを参照）。

対策

(1) 気象や発生状況に注意し、進行型病斑を認めたら速やかに薬剤防除を行う。

(2) QoI剤耐性菌発生を防止するため、これらの剤の使用回数は作期を通じて1回とする。

(3)窒素過多は発病を助長するので、穂肥等の施用は生育状況を見ながら適切に行う。

2) ツマグロヨコバイ

発生量：多（西部）、やや少（東部、中央部、中西部）

根 拠

(1)5月の調査では、県西部のみの発生であったが、6月の気温は平年よりも高めと予想されているため、既発ほ場を中心に発生が増加すると考えられる。

対 策

(1)近年、本虫の媒介する萎縮病の発生はほとんどなく、低密度時は薬剤散布は必要ないが、出穂期から登熟期にかけて密度が高くなると、実入りが悪化することがあるので、その場合は他の病害虫とあわせて防除を行う。

3) セジロウンカ

発生量：平年並（県下全域）

根 拠

(1)5月の調査では発生は確認されていないが、九州地方では飛来が確認されており、今後、本県にも飛来すると考えられる。

対 策

(1)セジロウンカはトビイロウンカ、コブノメイガ同様、中国大陸等から飛来する害虫であるため、ほ場内での発生に注意する。多飛来等で、成虫数が株当たり5頭以上になったときは薬剤防除を行う。

4) ヒメトビウンカ

発生量：多（西部）、やや少（東部、中部、中西部）

根 拠

(1)5月の調査では、県西部のみで発生が確認されたが、6月の気温は平年よりも高めと予想されているため、既発ほ場を中心に発生が増加すると考えられる。

対 策

(1)本県では、本虫の媒介する縞葉枯病がほとんど発生していないため本虫を対象にした薬剤散布の必要性は低いが、発生が多い場合は他の病害虫と同時防除を行う。

2 カンキツ（温州みかん）の病害虫

1) そうか病

発生量：やや少（中央部）

根 拠

(1)5月の調査では発生は確認されなかった。

(2)6月の降水量は平年並または多めと予想されているため、発生が見られ始めると考えられる。

対 策

(1)幼木や発生の多い園地では黒点病との防除を兼ねて、予防的な薬剤散布により、春葉への感染を防ぐ。また、防風垣などの整枝を行い、園地の通風をよくする。

2) 黒点病

発生量：やや少（中央部）

根 拠

- (1) 5月の調査では発生面積は確認されなかった。
- (2) 6月の降水量は平年並または多めと予想されているため、発生が見られ始めると考えられる。

対 策

- (1) 密植園での間伐、老木の更新、防風林の整備等により、枯枝の発生ができるだけ少なくなるように管理する。
- (2) 前回の防除から25日以上経過するか、累積雨量が250mmを超えると薬剤散布を行う。

3) かいよう病

発生量：やや少（中央部）

根 拠

- (1) 5月の調査では発病は確認されなかった。
- (2) 6月の降水量は平年並または多めと予想されているため、発生が見られ始めると考えられる。

対 策

- (1) 銅剤等の散布による予防に努めるとともに、発病がみられる夏秋梢は剪定、除去する。

4) ミカンハダニ

発生量：多（中央部）

根 拠

- (1) 5月の調査では平年よりも多めの発生であった。
- (2) 6月の気温は平年よりも高めと予想されているため、既発ほ場を中心に発生が増加すると考えられる。

対 策

- (1) 薬剤抵抗性発達を回避するため、異なった系統の薬剤によるローテーション防除を心がける。

5) カメモシ類

発生量：やや多（中央部）

根 拠

- (1) 5月の調査では、ほ場での発生は見られておらず、県中央部のフェロモントラップへの誘殺数も平年よりも少ない。ただし、中西部や東部でのフェロモントラップへの誘殺数は平年よりも多いことから、周辺の環境によって越冬成虫数は多い地域があると考えられる。

対 策

- (1) 果樹園周辺の雑木林から飛来してくるので、園内をよく観察して、飛来を確認したら防除を行う。

2 カンキツ（中晩柑類）の病害虫

1) そうか病

発生量：多（西部）、やや少（東部、中央部、中西部）

根 拠

- (1) 5月の調査では、県西部で平年よりも多かったが、その他の地域では発生が見られなかった。
- (2) 6月の降水量は平年並または多めと予想されているため、既発ほ場を中心に発生が増加すると考えられる。

対 策

- (1) 幼木や発生の多い園地では黒点病との防除を兼ねて、予防的な薬剤散布により、春葉への感染を防ぐ。また、防風垣などの整枝を行い、園地の通風をよくする。

2) 黒点病

発生量：やや多（中央部、中西部、西部）、平年並（東部）

根 拠

- (1) 5月の調査では県東部を除く地域で発生が見られた。発生面積は県中央部、中西部で平年並、西部はやや少なめであった。
- (2) 6月の降水量は平年並または多めと予想されているため、既発ほ場を中心に発生が増加すると考えられる。

対 策

- (1) 密植園での間伐、老木の更新、防風林の整備等により、枯枝の発生ができるだけ少なくなるように管理する。
- (2) 前回の防除から25日以上経過するか、累積雨量が250mmを超えると薬剤散布を行う。

3) かいよう病

発生量：多（中央部）、やや少（東部、中西部、西部）

根 拠

- (1) 5月の調査では、県中央部で平年よりも発生が多かったが、その他の地域では発生は見られなかった。
- (2) 6月の降水量は平年並または多めと予想されているため、既発ほ場を中心に発生が増加し、その他のほ場でも発生が見られ始めると考えられる。

対 策

- (1) 銅剤等の散布による予防に努めるとともに、発病がみられる夏秋梢は剪定、除去する。

4) ミカンハダニ

発生量：多（中央部）、やや多（中西部）、やや少（東部、西部）

根 拠

- (1) 5月の調査では、県中央部、中西部で発生が見られ、特に中央部では平年に比べ発生面積が多かった。

(2) 6月の気温は平年に比べ高めと予想されているため、既発ほ場を中心に発生が増加すると考えられる。

対 策

(1) 薬剤抵抗性発達を回避するため、異なった系統の薬剤によるローテーション防除を心がける。

5) カメムシ類

発生量：やや多（東部、中西部）、平年並（中央部、西部）

根 拠

(1) 5月の調査では、ほ場での発生は見られなかった。フェロモントラップへの誘殺数は県東部と中西部で平年よりも多く、中央部、西部では少ない。このことから県東部と中西部では越冬成虫数が多いと考えられる。

対 策

(1) 果樹園周辺の雑木林から飛来してくるので、園内をよく観察して、飛来を確認したら周辺作物への飛散防止に努めながら早めに防除する。

農作物の病害虫防除のための情報です。お気軽にご利用ください。

病害虫防除所ホームページ（こうち農業ネット）

- ① 病害虫発生予察月報、病害虫発生予察予報
- ② 病害虫発生予察注意報、病害虫発生予察警報、病害虫発生予察特殊報
- ③ 病害虫発生予察技術資料
- ④ 新しく問題となっている病害虫 etc.